

FOREST CLASSIC vol.1

# 音楽の都 ウィーンを 牽引する若きスター

ウィーン国立歌劇場管弦楽団の  
“新”コンサートマスター

ウィーン・フィルでもコンサートマスター  
として演奏する姿が見られる

## ヤメン・ サーディ

ヴァイオリン・リサイタル

ウィーンより“愛”をこめて

《愛の喜び》

《愛の悲しみ》

クライスラー ほか

ヴァイオリン傑作選

ピアノ 北端 祥人

きた ぼた よし と

2025 **4.22** (火) 14:00開演  
(13:30開場)

松戸・森のホール21 小ホール

全席指定 料金(税込) 5,000円/ピノメイト会員料金 4,500円

- 未就学児の入場はご遠慮ください。
  - 車椅子席をご希望の方は森のホール21チケットセンターにお問い合わせください。
  - 事前予約で有料託児有り (株)マザーズ 0120-788-222
  - 森のホール21駐車場は大変混雑いたします。電車、バスをご利用下さい。
- ※開催予定の公演を中止する場合がございます。ホームページなどで最新情報のご確認をお願いいたします。

主催：公益財団法人 松戸市文化振興財団  
共催：松戸市・松戸市教育委員会 協力：有限会社 ユニバース

ピノメイト会員 先行発売!! 12月1日(日)

一般発売 12月8日(日)

チケット  
取り扱い

■森のホール21チケットセンター  
047-384-3331  
10:00~19:00/月曜休館(祝祭日の場合は翌平日)

■イープラス <https://eplus.jp>  
■CNまつど 047-330-1878  
■(有)ユニバース 047-349-5323

お問合せ：森のホール21チケットセンター 047-384-3331 10:00~19:00/月曜休館(祝祭日の場合は翌平日)

©Julia Wesely

# ウィーンの、そしてヨーロッパの歴史を塗り替えた若き天才！ “クライスラーのストラディヴァリウス”で クライスラーを弾く！

ヤメン・サーディは2022年の秋、25歳にしてウィーン国立歌劇場管弦楽団コンサートマスターに任命され世界に衝撃が走った。そして今年2月、試用期間を無事に突破し正式にコンサートマスターに就任。まさにウィーンが認めた演奏家だ。ウィーン・フィルでもすでにコンサートマスターとして演奏する姿が目撃されており、今後ウィーンの、そして世界の音楽界を牽引する存在になることは間違いがない！今回の来日で1回だけのリサイタルとなる松戸公演ではクライスラーの小品を、クライスラーが所有したストラディヴァリウスで聴く！これは音楽ファン必聴！この日は全員、森のホール21に集結だ！！



## Program

クライスラー：  
愛の悲しみ／愛の喜び／  
美しきロスマリ／ウィーン風小行進曲／  
レチタティーヴォとスケルツォ／前奏曲とアレグロ／  
スラヴ幻想曲／ジプシーの女

アルベニス(クライスラー編)：組曲「エスパーニャ」  
シューマン(クライスラー編)：ロマンスイ長調  
ブラームス(クライスラー編)：ハンガリー舞曲 第17番  
グリーク：ヴァイオリン・ソナタ第1番 へ長調 ほか

※演奏曲目は変更になる場合がございます。



ヤメン・サーディ (ヴァイオリン)  
Yamen Saadi, violin

25歳にして2022/23シーズンよりウィーン国立歌劇場管弦楽団のコンサートマスターに就任。ソリストとして、また室内楽奏者として多忙なキャリアを送っている。落ち着いたある叙情性、技術、そして若さからは想像できない優雅さをあわせ持つ。ソリストとしてこれまでにシュターツカペレ・ベルリン、イスラエル・フィルハーモニー管弦楽団、ウェスト＝イースタン・ディヴァン管弦楽団、ヨーロッパ室内管弦楽団、バルセロナ交響楽団、ポーランド国立放送交響楽団、パレンシア管弦楽団などと共演し、ダニエル・パレンボイム、リオネル・ブランギエ、ローレン

ス・フォスター、レオニダス・カヴァコスなどの指揮者と共演している。

そしてニューヨークのカーネギーホール、ハンブルクのエルプフィルハーモニー、ベルリン・フィルハーモニー、同じくベルリンのピエール・ブレーズ・ザール、ラインガウ音楽祭、ヴェルビエ音楽祭、シュレスヴィヒ＝ホルシュタイン音楽祭、パウ・カザルス国際音楽祭など世界中のさまざまな音楽祭やコンサートホールで演奏をしてきている。

2024/25シーズンはステファニー・チャイルドレス指揮バルセロナ交響楽団、ケヴィン・ジョン・エドゥセイ指揮ナポリ交響楽団ほか、読売日本交響楽団にもデビューを果たす。リサイタルではアムステルダム・コンセルトヘボウ、マドリッド国立音楽堂、ヴェルビエ音楽祭、シュロス・エルマウ、アブダビ・フェスティバルなどに出演する。

ナザレに生まれ、同地のパレンボイム＝サイド音楽院でヴァイオリンを学び始める。その後、イスラエル・フィルのコンサートマスター、チャイム・タウブの指導を受け、11歳でウェスト＝イースタン・ディヴァン管弦楽団に入団。17歳で同オーケストラのコンサートマスターに就任。パレンボイム＝サイドアカデミーで学士号を取得するとクロンベルクアカデミーでミハエラ・マーティンに師事し、修士号を取得した。アメリカ＝イスラエル文化財団およびプリンス・フォン・ヘッセン賞より奨学金を授与。

現在、フリッツ・クライスラーが所有していた1734年製のストラディヴァリウス「Ex Lord Amherst of Hackney, Ex Fritz Kreisler」、およびヤコブ・ユリーの弓を使用している。いずれもステファン・ヤンセンがストレットン協会の会員に代わって貸与しているものである。



北端祥人 (ピアノ)

Yoshito Kitabata, piano

大阪府出身。2016年、第6回仙台国際音楽コンクール第3位のほか、第21回宝塚ベガ音楽コンクール第2位(2009年)、日本ショパンピアノコンクール第3位(2010年)、第7回神戸芸術センター記念ピアノコンクール第1位(2015年)、リヨン国際ピアノコンクールセミファイナルスティープロマ(2015年)など、これまでに数多くの賞を受賞している。2018年、第9回リスト国際ピアノコンクール(ドイツ・ワイマール/バイロイト)においては、ドビュッシー作品の最も優れた解釈に対する特別賞を受賞した。京都市立芸術大学、同大学院を首席で修了後渡独し、ベルリン芸術大学修士課程ソリスト科、および同大学室内楽科を修了。現在、東京音楽大学および東京藝術大学附属音楽高等学校非常勤講師、東京藝術大学弦楽科伴奏助手として後進の指導にあたっている。